

## 平成26年度 期末評価会議における委員の評価及び意見

## 1 委員の評価

## (ア) 取組実績の評価 (1) 事業の実施状況

評価点 (配点 30 点)	A委員	B委員	C委員
	20	20	20

## (イ) 取組実績の評価 (2) 事業の実施体制等

評価点 (配点 20 点)	A委員	B委員	C委員
	10	10	15

## (ウ) 取組効果の評価 目標等の達成状況

評価点 (配点 50 点)	A委員	B委員	C委員
	30	30	30

## (エ) 総合評価

評価	A委員	B委員	C委員
	B	B	B

## 主な意見等

- ・ Facebook の発信者を増やすなど、SNS等の活用による地域活動協議会の動き方の変革(組織型だけではなく、ネットワーク型・参画型へ)へ向かう戦略、工夫が必要
- ・ 若年層でコミュニティビジネスを既に展開している人も出てきているはずで、そうした人材と地域活動協議会が連携していく方向性が求められている
- ・ 古い住民と新しい住民の融合に突破口を見出してほしい
- ・ 担い手づくりの努力は評価できる
- ・ 基本的な実務支援の成果は見えてきており、評価できる。また、一步踏み込んだコミュニティビジネスの視点を地域の取り込もうと努力している点も理解できた
- ・ 今後、まちづくりセンターとしてどこまでを目標に、どの地域まで達成しようとしているのか、見込や仮説がないと地域の言われたことやニーズだけに答えるセンターになってしまわないか心配な点がある。区とともに平成27年度末までの目標に向かって各地域の取り組み方針について共有・確認してもよい

## (評価基準)

- S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
- A：本市の求める水準以上の効果が得られた
- B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
- C：本市の求める水準の効果が得られていない